



刑死した歌人の遺した6千余首から 912 首を精選

深海魚

響野湾子短歌集

池田浩士 編

定価 2000 円+税 46 変型判 191 頁 ISBN978-4-7554-0312-5 C0092

響野湾子さんとは、2019年8月2日、東京拘置所で刑死した死刑囚です。2006年から「死刑廃止のための大道寺幸子基金」死刑囚表現展に毎年応募し、選考委員である加賀乙彦、池田浩士、川村湊、香山リカ、北川フラム、坂上香、太田昌国さんたちから毎年高い評価を受けてきました。事件を犯し死刑囚徒となり、迫り来る刑死を目前に、苦悩する死刑囚が言葉に託して獄中の生を生き抜いた姿を、このまま埋もれさせるにはあまりにも惜しく、一冊にまとめました。

響野湾子 (きょうのわんこ 本名=庄子幸一)

1954年10月生まれ。

2001年8月9日に事件を起こす(大和連続主婦殺人事件)

2003年4月30日 横浜地裁で死刑判決

2004年9月7日 東京高裁で控訴棄却・死刑判決

2007年11月6日 最高裁にて上告棄却・死刑確定

2019年8月2日 東京拘置所にて死刑執行(享年64歳)

俳句集は近日、勝どき書房から刊行予定。

上訴審棄却賜わる今朝よりは光り届かぬ深海魚となる
我が命もて償うに足らざるを知りて絶望深まりぬ罪
確定に決まりし日より亡者の如くずだらずだらと歩く癖つく
生きたい!と望みし被害者殺めし手で我が再審書認るを恥ず
逝く先は月の砂漠と決めてをり戦に満ちたこの星を捨て
浅ましき獣の如き過去を持ち歌詠む事にひるみ覚える
この獄の霊安室は地下なりきこの夕焼けの届かぬも悲しき
それからがまだ想い湧かぬ人生を風が静かに時を流れむ

インパクト出版会

ご注文は、全国の書店、ネット書店へ。

直接注文の場合は、住所、氏名、郵便番号、電話あるいはメールアドレスを明記し FAX03-3818-8676、あるいは小社ホームページからご注文ください。

送料小社負担でお送りします。

113-0033 東京都文京区本郷 2-5-11 服部ビル 2F Tel: 03-3818-7576 fax: 03-3818-8676 E-mail: impact@jca.apc.org
